

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	農業技術センター 花き技術普及課	氏名	牧野雄太朗
派遣先 団体名	特定非営利活動法人 中村元記念館東洋思想文化研究所		

① 研修の日時

- 8月1日 講演会補助（中村元記念館開館5周年記念事業 中村元を語る会）
- 8月9, 10日 ボランティアイベント補助
蔵書クリーニング作業
- 9月13日 観葉植物の植替作業
- 10月18日 蔵書の整理作業、団体来場者への対応

② 研修の内容（できるだけ詳しく記載してください。）

8月1日

・講演会補助
（中村元記念館開館5周年記念事業 中村元を語る会）
会場設営の準備、講演会に来場した方への受付、資料、案内を行った。



8月9, 10日

・ボランティアイベント補助
小学生ボランティアへの対応として、蔵書クリーニングの補助を行った。



・蔵書整理

約3万冊ある中村元先生の蔵書クリーニングを行った。ハードカバーのしっかりした本もあれば、経年劣化によりボロボロになった論文雑誌もあった。中には表紙が剥がれ落ちかけているものもあり、扱いは慎重に行う必要があった。日本文献よりも外国語文献が多く、中には何語で書かれているのかわからないものもあった。



9月13日

・観葉植物の植替作業、書類送付作業

農業技術センターの職員ということで、展示してある観葉植物の植え替えを行った。



10月18日

・蔵書の整理作業、団体来場者への対応、論文授賞式に向けての準備補助

先日行った蔵書整理の作業を継続した。また、午後には、団体来場者の対応として受付を行った。また、10月20日にある論文授賞式に向けた準備を行った。



③ 研修の感想

(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

- ・記念館の5周年記念事業では、産学官を代表する方々が集まっていた。記念館館長の前田専学先生の話の聞くために島根県内からも多くの人に参加しており、この記念館が思想や生き方を学ぶ拠り所となっている印象を受けた。
- ・中村元先生の業績だけでなく、業績も含め、積尊の教えをわかりやすく説明するスタッフさんがいて感銘を受けた。
- ・実際にNPO法人に入ってみると、十分に施設は充実していると感じたが、本来目的としている事業を達成するためには人手が足りないということがわかった。約3万冊にも及ぶ蔵書は、現在半分も整理ができていない状況であり、ダンボールの詰まった本は重く、予想以上に重労働であった。
- ・また、観葉植物の植替というこちらとしては当たり前のように行っている作業でも、向こうは本の扱いではプロフェッショナルだが、植物の扱いは不慣れで私を頼りにしてくれた。一方で、農業の専門ということで様々なことを聞かれたが、答えることができなかつたりすることもあり、自分の知識不足を感じた。他の人から見れば自分は農業の専門であり、その全般に詳しい人というイメージを持たれている。専門の担当にこだわることなく、広く勉強する必要性を感じた。
- ・最後に不慣れな中、研修に対応して頂きましたスタッフの皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)報告書は、平成31年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。